

2020年東京大会を来年度にひかえた

我が校（園）のオリンピック・パラリンピック教育（概要版）

中野区立平和の森小学校（園）

○本校（園）のオリンピック・パラリンピック教育で育成したい幼児・児童・生徒の姿

- ・すすんで運動に取り組み、友だちと自分の力を高め合う子
- ・日本の文化や世界の文化に興味をもち、お互いのよさを理解できる子
- ・すすんで人のために役立とうと行動する子



○主な実践

アスリート等を招いて

マラソン代表のオリンピックを招いて、持久走大会に向けて指導を受ける。
実際に指導を受ける中で、スポーツの大切さを学び、オリンピック・パラリンピックの歴史やそれを支える人々の願いを理解し、体力を高めていく姿勢を育てる。

世界の国々や日本の文化を理解する

- ・学校公開日には外部講師を招いて「日本の伝統文化について」指導を受ける。
- ・中学年以上では各教科の中で日本と世界のつながりや歴史、自国の伝統について調べる活動を通して国際性豊かな人権感覚を育成する。

平和で誰もが共生できる社会をめざして

- ・道徳教育を中心に「思いやり」や「異文化理解」の心情を育てる。
- ・オリンピック・パラリンピック学習読本を活用し、ボランティア・マインドの育成を図り、地域と連携した活動や児童会活動を中心に体験学習を通して、児童への定着を図る。



○来年度（オリンピック・パラリンピックイヤー）への思い

- ・これまでに継続してきたオリンピックの持久走の指導や講談師による日本の伝統文化の学習をさらに継続し、すすんでボランティアに参加する取り組みを実施する。
- ・オリンピック・パラリンピックの観戦に向けて、事前学習を行い、スポーツのよさに気付かせると共に運動好きの子ども達に育てていく。



オリンピック・パラリンピック教育実践報告

平和の森小学校（園）



子ども達の可能性を伸ばす



平成28年9月の道徳地区公開講座では、義肢装具士の富永修一先生をお招きして、パラリンピックのお話や義肢を使っている選手たちのお話を聞きました。障害をサポートする立場の大切さを学びました。



平成28年5月の学校公開では女子バスケットボールのオリンピック人大山妙子さんの体験学習・講演を行いました。中野出身の大山さんの話やプレーは子ども達を誇らしい気持ちにしてくださいました。



平成29年から平成30年まで3年続けて、男子マラソンオリンピックの実井謙二郎さんに走り方教室の指導をして頂いています。毎年、持久走大会でも一緒に走って下さり、子ども達も大喜びです。



平成28年10月には男子体操のオリンピック人田中光さんをお招きして、体操教室を行いました。体を上手に使うコツを子ども達は学んでいました。次々に、素晴らしい技を繰り出す田中さんに感嘆の声が上がり、自分でもやってみたいと思う子どもたちが増えました。



平成29年9月の道徳地区公開講座では、元キャピテンアテンダントで、筑波大の客員教授である江上いずみ先生に児童向け講演会として「おもてなし講座」を保護者・地域向け講演会として「言葉がけの大切さと心づかいの極意」を話していただきました。



平成30年の5月には日本の大学に留学しているアジアの学生と5年生が交流を行いました。色々な国の文化についてインタビューを行い、日本の良さや学校での様子についても伝えていました。こうした交流は平成28年度から継続的に行っています。